

愛知県政記者クラブ、中部経済産業局記者会、岡崎市政記者会、瀬戸市記者会、春日井市政記者クラブ、豊田市政記者クラブ、豊田市政記者東クラブ、日進市記者クラブ、長久手市同時



同センター 3階研究室



あいち産業科学技術総合センター  
1階科学技術展示コーナー

平成 24 年 8 月 10 日 (金)

- あいち産業科学技術総合センター  
企画連携部企画室  
担当 鹿野、今井  
電話 0561-76-8306 (ダイヤルイン)
- 愛知県産業労働部産業科学技術課  
管理・調整グループ  
担当 西村、榊原 (和)、加藤 (淳)  
内線 3380、3381  
電話 052-954-6347 (ダイヤルイン)
- 公益財団法人科学技術交流財団  
担当 山口、河合、今井  
電話 0561-76-8356・8357 (ダイヤルイン)

## 「知の拠点」研究プロジェクト一般公開デー2012 の参加者を募集します

愛知県及び公益財団法人科学技術交流財団は、「知の拠点<sup>\*1</sup>」で行っている最先端の研究プロジェクトについて、一般県民の方にわかりやすく紹介する“「知の拠点」研究プロジェクト一般公開デー2012”を開催します。

この研究プロジェクトは、大学等の研究者と企業の技術者が「知の拠点」に集まり、「自動車・航空機用材料加工技術<sup>\*2</sup>に関する研究プロジェクト」、「食の安心・安全技術<sup>\*3</sup>に関する研究プロジェクト」、「早期診断技術<sup>\*4</sup>に関する研究プロジェクト」の3テーマで、共同研究開発を行っています。

一般公開デーは、研究プロジェクトのわかりやすい説明 (40 分程度) と実験を行っている研究室等の見学 (1 時間程度) からなり、どなたでもご参加いただけますので、多数のご参加をお待ちしております。

なお、小学生以下のお子様は保護者同伴でお願いします。

### 1 行事名

「知の拠点」研究プロジェクト一般公開デー2012 ～最先端の科学技術に触れよう！～

### 2 日時

平成 24 年 9 月 29 日 (土) 午後 1 時 30 分から午後 3 時 30 分まで

### 3 場所

あいち産業科学技術総合センター 1 階講習会室  
(豊田市八草町秋合 1267-1 東部丘陵線リニモ「陶磁資料館南駅」下車すぐ)  
\*会場には、公共交通機関を利用してお越しください。

### 4 主催

愛知県、公益財団法人科学技術交流財団

## 5 内容

- ・「愛知の産業を拓く最先端の研究開発について」  
あいち産業科学技術総合センター 企画連携部企画室 室長 <sup>いまたかあき</sup> 今井貴章  
(午後 1 時 35 分～1 時 45 分)
- ・「自動車・航空機用材料加工技術に関する研究プロジェクトの紹介」  
(公財)科学技術交流財団 知の拠点重点研究プロジェクト統括部 事業統括 <sup>おおにしやすし</sup> 大西保志  
(午後 1 時 45 分～1 時 55 分)
- ・「食の安心・安全技術に関する研究プロジェクトの紹介」  
(公財)科学技術交流財団 知の拠点重点研究プロジェクト統括部 事業統括 <sup>あおきよしあき</sup> 青木美昭  
(午後 1 時 55 分～2 時 5 分)
- ・「早期診断技術に関する研究プロジェクトの紹介」  
(公財)科学技術交流財団 知の拠点重点研究プロジェクト統括部 事業統括 <sup>やまもとしょうへい</sup> 山本良平  
(午後 2 時 5 分～2 時 15 分)
- ・プロジェクト研究室、シンクロトン光利用施設\*5、展示コーナーの見学  
(午後 2 時 25 分～3 時 30 分)

## 6 参加費

無料

\*参加された方には、もれなく**記念品**を差し上げます。

## 7 定員

120名 (先着順)

## 8 申込について

### (1) 申込期間

平成24年8月20日(月)午前10時から平成24年9月14日(金)午後5時まで

\*先着順で、定員になり次第締め切ります。

\*参加受付証は発行しませんので、お申込みの上、直接会場にお越しください。

なお、定員超過の場合にのみ連絡させていただきます。

### (2) 申込方法

参加申込書に必要事項(氏名、電話番号、E-mail アドレス、小学生以下の人数)をご記入のうえ、FAX または E-mail でお申し込みください。

\*参加申込書の入手方法: 県 HP からダウンロードしてください。

<http://www.pref.aichi.jp/0000053003.html>

### (3) 問合せ・申込先

公益財団法人科学技術交流財団 知の拠点重点研究プロジェクト統括部

TEL: 0561-76-8357、FAX: 0561-21-1653

E-mail: [juten@astf.or.jp](mailto:juten@astf.or.jp)

## 用語説明

用語	説明
*1 「知の拠点」	<p>「知の拠点」は、付加価値の高いモノづくりを支援する研究開発拠点として、本県が、万博跡地に整備を進めているもの。</p> <p>企業や大学等の研究者が共同研究開発を行う「あいち産業科学技術総合センター」と、原子や分子レベルで高度な計測分析を行う「シンクロトロン光利用施設」からなる。</p> <p>「あいち産業科学技術総合センター」は平成24年2月14日にオープン、「シンクロトロン光利用施設」は平成24年度中のオープンを目指して、現在、機器の調整を行っている。</p>
*2 自動車・航空機用材料加工技術	<p>自動車や航空機に使われる金属や樹脂を、ナノ・マイクロレベル（ナノはナノメートルのことで100万分の1mm、マイクロはマイクロメートルのことで1000分の1mmのこと）で、高精度、低環境負荷、安価に加工すること。</p>
*3 食の安心・安全技術	<p>固体、液体等さまざまな形態の食品や農産物に対して、残留農薬、金属・髪の毛・プラスチックなどの固形異物、食中毒菌などを高精度・迅速・安価に検査すること。</p>
*4 早期診断技術	<p>今後増加が見込まれる癌や動脈硬化などの生活習慣病に対して、血圧の測定法や呼気・皮膚ガスなどの成分検査のように、ほとんど痛みを伴わずに早期に診断すること。</p>
*5 シンクロトロン光利用施設	<p>太陽光の100億倍と言われる強い光（シンクロトロン光）を測定する材料にあてて、どのような材料か、どのような構造か等を調べる施設。</p> <p>シンクロトロン光とは、ほぼ光速で直進する電子が電磁石によって進行方向を変えられた際に発生する電磁波で、「知の拠点」では、マイクロ波、赤外、可視、紫外からX線まで連続した波長の光を出すことができる。</p> <p>ナノテク分野の研究開発を支援する最先端の計測装置を備えるものとして、「知の拠点」において重要な役割を果たす施設で、産業利用を重視している。</p>